

Title	北村洋基教授 略歴・著作目録
Sub Title	Biographical sketch and writings of Professor Hiromoto Kitamura
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2012
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.104, No.4 (2012. 1) ,p.663(157)- 672(166)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20120101-0157

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

北村 洋基教授 略歴・著作目録

* 2012年3月31日をもって慶應義塾大学
経済学部を定年退職するのにもない、
本学会を退会する会員の略歴・著作目録
を次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

北村 洋基教授 略歴・著作目録

学 歴

- 1970年3月 京都大学経済学部卒業
- 1972年3月 京都大学大学院経済学研究科修士課程修了
- 1975年3月 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

職 歴

- 1975年4月 文部省奨励研究員
- 1975年8月 福島大学経済学部助教授
- 1989年4月 福島大学経済学部教授
- 1995年4月 慶應義塾大学経済学部教授

〈非常勤講師〉

- 1984年度～1990年度 会津短期大学
- 1986年度 九州大学経済学部
- 1987年度 松山商科大学経済学部
- 1993年度 北海道大学教育学部
- 1994年度 会津短期大学
- 1995年度 京都大学経済研究所
- 1995年度 福島大学経済学部
- 1995・96年度 宇都宮大学国際学部
- 1997・98年度 東日本国際大学経済学部

学 位

- 1972年3月 経済学修士 京都大学
- 2004年3月 博士（経済学）中央大学

研究業績

I. 著書

(1) 単著

- 1) 『情報資本主義論』大月書店, 2003年1月, 399ページ。
- 2) 『岐路に立つ日本経済』大月書店, 2006年4月, 266ページ。
- 3) 『現代社会経済学』桜井書店, 2009年9月, 216ページ。
- 4) 『改訂新版・岐路に立つ日本経済』大月書店, 2010年5月, 301ページ。

(2) 編著

- 1) 『現代社会——21世紀を生きる——』数研出版, 2003年1月, 160ページ。

(3) 共著

- 1) 科学・技術の現状と障害児問題
『児童問題講座』第7巻 田中真人編『障害児問題』ミネルヴァ書房, 1975年12月, pp. 268-284
- 2) 日本の原子力開発の展開過程
安齋育郎編『図説原子力読本』合同出版, 1979年2月, pp. 203-220
- 3) 電力
『体系日本・福島』第3巻 星埜惇監修『産業と経済』コーキ出版, 1979年11月, pp. 210-228
- 4) 現代資本主義の理論と構造
『講座資本論の研究』第5巻 真木実彦他編『資本論の発展』青木書店, 1980年3月, pp. 52-93
- 5) 生産力展開と剰余価値生産
『講座資本論の研究』第2巻 米田康彦他編『資本論の分析(1)』青木書店, 1980年5月, pp. 223-263
- 6) 電源開発と福島県
山田舜編『福島県の産業と経済』日本経済評論社, 1980年8月, pp. 109-128
- 7) 現代資本主義の生産過程
『資本論体系』第3巻 富塚良三他編『剰余価値・資本蓄積』有斐閣, 1985年1月, pp. 337-355
- 8) 電気事業と原発
日本科学者会議編『原子力発電——知る・考える・調べる——』合同出版, 1985年8月, pp. 229-239
- 9) 原子力と社会
日本科学者会議編『現代の技術と社会』青木書店, 1986年4月, pp. 87-119
- 10) 技術の構造と発達の論理
仲村政文・篠原陽一編『現代技術の政治経済学』青木書店, 1987年4月, pp. 39-74
- 11) 人類の技術としての原子力

- 日本科学者会議編『原子力と人類』リベルタ出版, 1990年2月, pp. 187-198
- 12) 中国経済結構転換所面臨の課題及其前景 (「中国の経済構造転換の課題と展望」)
夏興園・藤村俊郎編『中日両国地区経済発展結構的比較分析』武漢出版社, 1993年4月, pp. 296-322
- 13) 情報化の進展と労働
新家健精・星野珉二編『情報化と社会』八潮社, 2000年5月, pp. 132-143

II. 論文

- 1) 技術と経済発展——マルクス技術論の分析と適用説批判をつうじて——
『現代と思想』第12号(特集・科学技術革命と現代), 1973年6月, pp. 214-237
- 2) 日本の原子力政策の形成過程
『経済論叢』(京都大学)第114巻1・2号, 1974年7・8月, pp. 37-57
- 3) 日本の原子力産業と研究開発——昭和30年代の「赤字」問題を中心にして——
『経済論叢』第114巻5・6号, 1974年11・12月, pp. 89-114
- 4) 日本の原子力政策と産業——昭和40年代の研究開発を中心として——
『商学論集』(福島大学)第44巻4号, 1976年3月, pp. 1-32
- 5) 技術発展の諸段階——オートメーションの評価をめぐって——
『商学論集』第46巻3号, 1977年12月, pp. 33-74
- 6) 三春町における工業的展開と主要産業の分析
『東北経済』(福島大学)第68号, 1980年3月, pp. 1-48 (安富邦雄との共著)
- 7) 現代資本主義の生産力構造——分析視角と方法——
『経済論叢』第127巻1号(木原正雄教授退官記念号), 1981年1月, pp. 106-127
- 8) 現代資本主義分析の方法と技術論——中村静治氏の本誌論文によせて——
『経済科学通信』第32号, 1981年9月, pp. 75-79
- 9) 新日鐵釜石合理化の歴史的的位置——生産構造の展開を軸として——
『東北経済』第72号, 1982年3月, pp. 69-125
- 10) 日本の原子力開発の現段階
『商学論集』第51巻2号, 1982年12月, pp. 80-121
- 11) 産業構造の転換について〈100号記念研究動向〉
『土地制度史学』第102号, 1984年1月, pp. 58-68
- 12) 現代の技術革新をどう見るか——日本経済の構造的危機との関係——
『中小商工業研究』第1号, 1984年12月, pp. 6-14
- 13) オートメーションと情報化(上)
『商学論集』第54巻1号, 1985年7月, pp. 90-116

- 14) オートメーションと情報化 (下)
『商学論集』第55巻1号, 1986年7月, pp. 142-175
- 15) 現代の技術革新と産業再編成
『経済』第272号 (特集・ハイテク化と日本経済), 1986年12月, pp. 118-132
- 16) 今日の原子力発電——その政策的問題点——
『経済』第280号 (特集・日本の原子力問題), 1987年8月, pp. 69-82
- 17) 情報化・労働・生産様式
『商学論集』第57巻1号, 1988年8月, pp. 35-59
- 18) 日本資本主義と高度技術先端産業
『日本の科学者』第24巻6号, 1989年6月, pp. 2-7
- 19) 日本経済的現状及結構転換的課題 (日本経済の現段階と構造転換の課題)
『中南財経大学学報』1989年第6号, 1989年11月, pp. 106-118
- 20) 国際競争力問題と技術革新——日米比較を中心に——
『経済』第309号 (特集・90年代の世界経済を読む), 1990年1月, pp. 27-38
- 21) ME化・情報化の評価をめぐって——生産力的側面から——
『土地制度史学』第130号, 1991年1月, pp. 1-15
- 22) ハイテク化と日本経済について
『経済』第325号 (特集・現代経済とハイテク化をみる視点), 1991年5月, pp. 8-22
- 23) 最近日本経済的变化及主要産業的動向——対日本の評価及展望—— (最近の日本経済の変化と主要産業の動向——日本経済の評価と展望——)
『経済与管理叢』(中南財経大学経済研究所) 1991年第2号, 1991年6月, pp. 3-9
- 24) 最近の科学技術政策の動向
『行財政研究』第13号, 1992年3月, pp. 25-30
- 25) 日本経済の構造転換とその評価について——経済構造の転換と産業構造の転換——
『商学論集』第61巻2号, 1992年11月, pp. 43-62
- 26) 先端技術産業 = 情報 (関連) 産業の現段階——ハイテク不況の意味するもの——
『商学論集』第62巻2号, 1993年12月, pp. 51-71
- 27) ME化・情報化について
『三田学会雑誌』第87巻2号, 1994年7月, pp. 82-90
- 28) 情報化の技術と経済 (学界展望)
『経済理論学会年報第31集・戦後世界システムの転換』青木書店, 1994年10月, pp. 222-241
- 29) 日本の現段階の生産様式について——トヨタ生産方式の一評価——
『三田学会雑誌』第88巻4号, 1996年1月, pp. 21-43

- 30) 情報化社会をどうみるか
『経済』再刊第8号, 1996年5月, pp. 78-90
- 31) 情報化と資本主義的生産様式・序説——道具と機械段階の労働過程——
『三田学会雑誌』第89巻3号, 1996年10月, pp. 14-36
- 32) 情報技術の発展と日本の労働過程の変化
『経済と社会』第11号, 1997年11月, pp. 61-75
- 33) 情報資本主義と労働価値論の現代化
『経済』第48号, 1999年9月, pp. 51-113
- 34) IT革命と日本資本主義の課題(上)
『経済』第73号, 2001年10月, pp. 72-88
- 35) IT革命と日本資本主義の課題(下)
『経済』第74号, 2001年11月, pp. 162-177
- 36) 構造的過剰論の検討と過剰解消への道
『経済』第101号, 2004年2月, pp. 73-100
- 37) 情報資本主義とはどのような資本主義か
『経済科学通信』第107号(特集・情報資本主義!), 2005年4月, pp. 33-38
- 38) 日本資本主義の新段階
『経済』第118号, 2005年7月, pp. 85-109
- 39) 資本主義(経済学)の物語的展開と現段階
北山研二編『なぜ人々は物語なしに生きてゆけないのか』(科研費基盤研究(C)課題番号16602105 研究成果報告書)2007年3月, pp. 148-161
- 40) 現代の金融危機・世界同時不況についての一考察
植田浩史編『アジアの経済変動と日本』(平成20年度大学院高度化推進研究費報告書)2009年3月, pp. 37-53
- 41) 情報資本主義の歴史的 position と意義
『季報・唯物論研究』第116号(特集・IT革命と情報資本主義), 2011年8月, pp. 8-17

III. 論説・解説等

- (1) 論説・解説
- 1) 現代技術論(経済学オリエンテーション)
『経済』第217号, 1982年5月, pp. 172-175
- 2) 機械と大工業(原典解説)
『資本論体系』第3巻 富塚良三他編『剰余価値・資本蓄積』有斐閣, 1985年1月, pp. 56-65

3) 「戦後 50 年」と日本経済

『三色旗』第 577 号, 1996 年 4 月, pp. 22-26

4) 追悼・中村静治氏の技術論の意義とわれわれの課題

『政経研究』第 68 号, 1997 年 5 月, pp. 41-43

5) マルクス経済学の勉強法

『スタディガイド経済学』CD ブック, 慶應義塾大学通信教育部, 2000 年 7 月, pp. 22-31

6) 今日の日本経済を考える——1970 年代との対比から——

『三色旗』第 656 号, 2002 年 11 月, pp. 2-9

7) 不平等・格差・社会的排除についての基礎的検討

『三色旗』第 715 号, 2007 年 10 月, pp. 27-31

(2) 報告論文

1) 原子力産業の当面する問題点

日本科学者会議編『第 4 回原子力発電問題全国シンポジウム (福島) 報告集・危機における原子力発電と地域開発』1976 年 12 月 (報告・1976 年 8 月), pp. 11-14

2) 原子力発電の経済学的意義

日本科学者会議編『第 8 回原子力発電問題全国シンポジウム (東京) 報告集・エネルギーとしての原子力発電とその安全性』1982 年 3 月 (報告・同), pp. 17-25

3) 最近の日本経済とエネルギー・原発問題

日本科学者会議編『第 10 回原子力発電問題全国シンポジウム (石巻) 報告集・地域社会と原子力発電』1984 年 12 月 (報告・1984 年 8 月), pp. 23-32

4) 人類の技術としての原子力

日本科学者会議編『第 15 回原子力発電問題全国シンポジウム (札幌) 報告集・原子力と人類』1990 年 2 月 (報告・1989 年 8 月), pp. 187-198

5) 情報化の進展と労働

福島大学行政社会学部・経済学部『情報化と社会』(講義録) 1999 年 3 月, pp. 89-100

(3) 事典項目執筆

1) 福島民報社『福島大百科事典』1980 年 11 月

31 項目 (一般機械器具製造業, 電源開発, 原子力発電所, 只見特定地域総合開発計画, 等)

2) 基礎研 WEB 政治経済学用語事典, 2009 年 4 月

6 項目 (生産的労働, イノベーション, オートメーション, フォーダイズム, 等)

(4) 座談会・シンポジウム等の記録

- 1) 討論・原子力発電問題の本質と今後の展望
『日本の科学者』第12巻4号, 1977年4月, pp. 38-43
- 2) 座談会・情報化は経済・社会をどう変えるか
『経済』再刊第11号, 1996年8月, pp. 6-48
- 3) 座談会・情報化は労働をどう変えるか
『経済』第23号, 1997年8月, pp. 4-48
- 4) シンポジウム・情報資本主義!?
『経済科学通信』第107号, 2005年4月, pp. 39-45

IV. 学会報告・コンファレンス等

- 1) 中村静治著『戦後日本の技術革新』と日本資本主義分析の問題点をめぐって
経済理論学会関東部会, 1980年6月21日, 東京都立大学
- 2) 現段階の日本の生産力構造について——方法論的一考察——
土地制度史学会関東部会, 1983年5月28日, 専修大学
- 3) ME化・情報化の現段階——その歴史的・理論的位置と意義の評価について——
土地制度史学会春期総合研究会, 1990年6月23日, 東京大学
- 4) 先端技術産業=情報(関連)産業の現段階と産業構造転換の課題
土地制度史学会東北部会, 1993年7月25日, 桜島荘(秋田県男鹿)
- 5) ME化・情報化について
コンファレンス「20世紀末の資本主義」1993年11月19~21日, 伊豆

V. 書評・リプライ等

- 1) ソ連邦科学アカデミー哲学研究所・チェコスロヴァキア哲学アカデミー社会研究所編『人間・科学・技術』上・下, 大月書店
『日本とソビエト』第542号, 1975年11月1日
- 2) 中村静治『戦後日本の技術革新』大月書店
『経済』第193号, 1980年5月, pp. 282-284
- 3) 朝日新聞社いわき支局編『原発の現場』朝日ソノラマ
『日本の科学者』第16巻3号, 1981年3月, pp. 40-41
- 4) 久野国夫『現代資本主義の生産力構造』青木書店
『労働総研クォーター』第7号, 1992年6月, pp. 60-61
- 5) 松石勝彦『コンピュータ制御生産と巨大独占企業』青木書店

- 『経済』第33号, 1998年6月, pp. 88-89
- 6) 産業構造研究会編『現代日本産業の構造と動態』新日本出版社
『しんぶん赤旗』2000年5月8日
- 7) 誌面批評「20世紀マルクス経済学：回顧と展望」
『経済科学通信』第96号, 2001年8月, pp. 94-96
- 8) 筆者からひと言 「構造的過剰論の検討と『過剰』解消への道」
『経済』第104号, 2004年5月, p. 175
- 9) 『情報資本主義論』に対する書評（筆者：福田豊）へのリプライ
『経済理論』第41巻3号, 2005年10月, pp. 100-101
- 10) 松石勝彦『『資本論』と産業革命』青木書店
『経済』第148号, 2008年1月, pp. 124-125
- 11) 森岡孝二『強欲資本主義の時代とその終焉』桜井書店
『季論21』第10号, 2010年10月, pp. 227-231

VI. その他（主なもの）

- 1) フランス文化事情——フランスを見る, フランスを知る（北山研二との共著）
『三色旗』第727号, 2008年10月, pp. 1-33
- 2) 追悼・木原先生と技術論の勉強を始めた頃を中心として
『比較経済体制研究』第15号, 2009年1月, pp. 107-109